【2025.8.4 発信 VOL.98】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.98 は、以下の内容でお届けします。

- 第 27 回参議院議員通常選挙を終えて
 - 農林水産省渇水・高温対策本部の設置と農業用水対策の支援について
 - 令和 6 年度世界かんがい施設遺産の認定について
 - 農福連携等応援コンソーシアム総会の開催について
 - 食料・農業・農村政策審議会食糧部会について
 - 各種講演、国政報告を精力的に実施。
 - 活動状況(2025.7.1~2025.7.31)
-

■第 27 回参議院議員通常選挙を終えて

参議院議員の進藤金日子です。

・7 月 20 日投開票の参議院選挙は、与党にとって苦渋に満ちた結果となってしまいました。が、私自身、今回の結果を重く受け止め、今後とも私の政治信条である食料安全保障の確立を中心に、「食」、「農林水産業」、「農山漁村」の未来を切り拓くため、皆様と心を一つにしてしっかりと取り組んでまいりますので、引き続きのご指導をお願いします。

・今回の選挙では、宮崎雅夫さんをはじめ多くの同志を失うことになり、私自身忸怩たる思いで一杯です。選挙期間中、私は多くの道府県を訪問して同志の応援をいただきましたが、その際には、関係する国会議員、県会議員、市町村長、市町村議会議員をはじめ多くの関係者から心のこもった激励や応援を頂戴しました。心から感謝申し上げる次第です。

・さて、8 月に入りました。気象庁の発表によると、8 月上旬は平年よりかなり高く、「猛暑」が予想されるとのことです。7 月 30 日には、兵庫県丹波市柏原で観測史上初の 41.2 度を記録しました。また、7 月下旬には北海道北見市で 39 度を記録するなど、全国的に猛暑の夏となっています。さらに、北陸や東北などの日本海側を中心とした広い範囲で雨の少ない状況が続き、水稻等に被害が出る恐れがあるため、農林水産省では農林水産省渇水・高温対策本部を設置しました。この渇水や高温で農作物に被害が出ないことを祈るばかりです。

・全国各地で厳しい暑さが続いております、皆様におかれましては体調管理や熱中症に十分ご留意の上、ご自愛頂きたいと思えます。

■農林水産省渇水・高温対策本部の設置と農業用水対策の支援について

・7 月 30 日、農林水産省は、現下の渇水及び高温により水稻の生育等への影響が懸念されていることを踏まえ、現状把握と速やかな対応を行うため、「農林水産省渇水・高温対策本部」を設置しました。また、「水利施設管理強化事業」により現場における渇水対策のためのポンプ調達・運転や番水等に係る諸経費を補助することとしました。

※詳細は以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/mizu/250730.html>

■令和7年度世界かんがい施設遺産の認定について

・7月23日、国際かんがい排水委員会(以下「ICID」という。)は、下記の2施設を「世界かんがい施設遺産」として新たに認定することを決定しました。認定式は、9月10日にマレーシアのクアラルンプールで行われ、申請者へ認定証と記念盾の授与が行われる予定です。

1) 湯の口ため池・井手(ゆのくちためいけ・いで)(熊本県山鹿市)

2) 竹田のかんがい用水群(たけたのかんがいようすいぐん)(大分県竹田市)

・地域を潤し、多くの人々の命を繋いできた、かんがい施設の建設並びに長年にわたり維持管理されてこられた皆様に敬意を表します。

※詳細は以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kaigai/250723.html>

■農福連携等応援コンソーシアム総会の開催について

・8月4日に令和7年度農福連携等応援コンソーシアム総会が開催されます。

・総会では、1) 令和6年度の活動報告及び令和7年度の活動計画(案)、2) 農福連携等企業部会の活動計画(案) について議論が行われる予定です。

・「農福連携等応援コンソーシアム」は、農福連携等を国民的運動として展開していくため、令和2年3月に、国、地方公共団体、関係団体等もとより、経済界や消費者、さらには学識経験者等の様々な関係者が参画して設立されました。会員間の連携により、農林水産業の発展を目指しつつ、地域共生社会の実現を図る取組として農福連携等を発信していくこととしています。

・また、同日の8月4日に各地方農政局等において「農福連携等地域別交流会」が開催されます。農福連携等地域別交流会では、局管内の農福連携実践者や行政機関などの関係者が集まり、意見交換会や優良事例の横展開等を行うことで、地域単位での農福連携の推進体制構築に繋げることを目的として開催されます。

※詳細は以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/250728.html>

■食料・農業・農村政策審議会食糧部会について

・7月30日、農林水産省において、食料・農業・農村政策審議会食糧部会が開催されました。

・同部会では、米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針について議論が行われ、同指針は適当と認める答申がなされ、基本方針が策定されました。

・今回策定した基本指針では、米穀の備蓄の目標数量その他米穀の備蓄の運営に関する事項や米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項が規定されております。

※資料等は以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/250730/0730.html>

■各種講演、国政報告を精力的に実施

・7月1日(火)秋田市で開催された「秋田県農村振興技術連盟スキルアップ研修会」において

「食料・農業・農村基本計画、改正土地改良法と米を取り巻く状況について」と題して、米問題の真相と今後の展開、土地改良に求められる役割、地域計画と水土里ビジョンの農地情報上での連結の必要性等について講演を行いました。